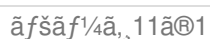




作成者: oldturkey03



はじめに

このDualShock 4は、両方のアナログスティックにドリフト挙動が発生していました。非常にわかりやすいジョイスティックの交換により、この問題は解決しました。

ジョイスティックはコントローラーボードに半田付けされています。この作業を完了するには、半田付けステーションが必要です。



ツール:

- 半田付けステーション (1)
- プラススクリュードライバー(#00) (1)
- iFixit開口ツール (1)
- Essential Electronics Toolkit (1)



部品:

- PlayStation 4/Xbox One Controller Joystick (1)
- DualShock 4 Controller Joystick Cover (1)

手順 1 — DualShock 4コントローラの分解



- フィリップス#00ドライバーを用いて、コントローラとリアカバーを留めている4つの6.0mmネジを外します。

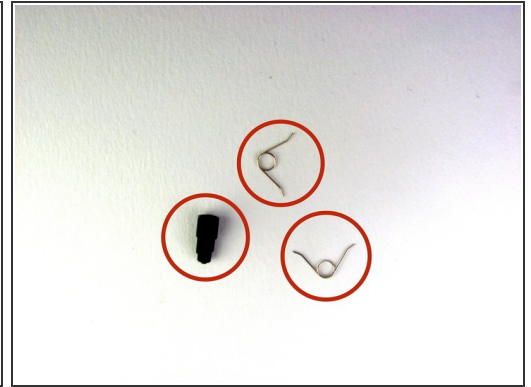
⚠ ネジに無理やり緩めないでください。ネジに永続的なダメージを与えてしまい、取り外しができなくなる場合があります。

手順 2



- ① 4つの壊れやすいプラスチッククリップでケースに固定されています。その位置情報は、[このガイド](#)から詳細に確認することができます。
- ① クリップは、継ぎ目部分を固定するのに役立ちます。このクリップが壊れても、コントローラは動作します。
 - 左側から始めてください。
 - コントローラの左グリップを掴んでこじ開けます。
 - プラスチックの開口ツールを開口部分の隙間に差し込み、ジョイスティック側にスライドします。
 - 押し下げてケースを割り開けます。
 - 右側も同じ手順を繰り返します。

手順 3



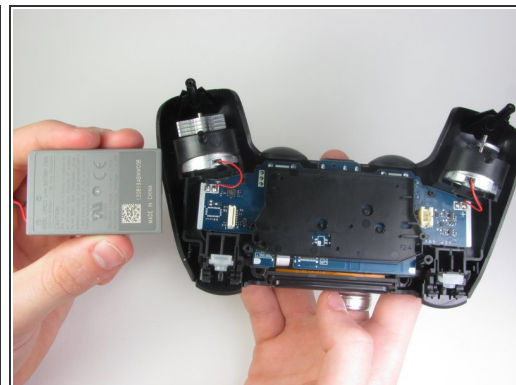
- プラスチック製の開封用具をケース継ぎ手に挟み、下に引くと、以下のボタン付近でケースを割ることができます。
 - **Share**ボタン
 - **Option**ボタン
 - コントローラのプラスチックカバーを分割し、基板リボンが付いたままであることを注意してください。
- ⓘ 3つの小さいパーツはコントローラから外れる場合があります。失くさないよう、作業スペースを管理してください。
- 2つのトリガースプリング
 - 1つのグレーのリセットボタンの延長パーツ

手順 4 — バッテリー



- コントローラの2つの部分を接続している、マザーボードのリボンケーブルを、指で引き抜いて取り外します。
 - ☑ 接続しなおす際には、ケーブルの向きに注意して、正しい方向を向いていることを確認します。
- 2つの部分を分離したら、コントローラのトップ部分は脇に置きます。

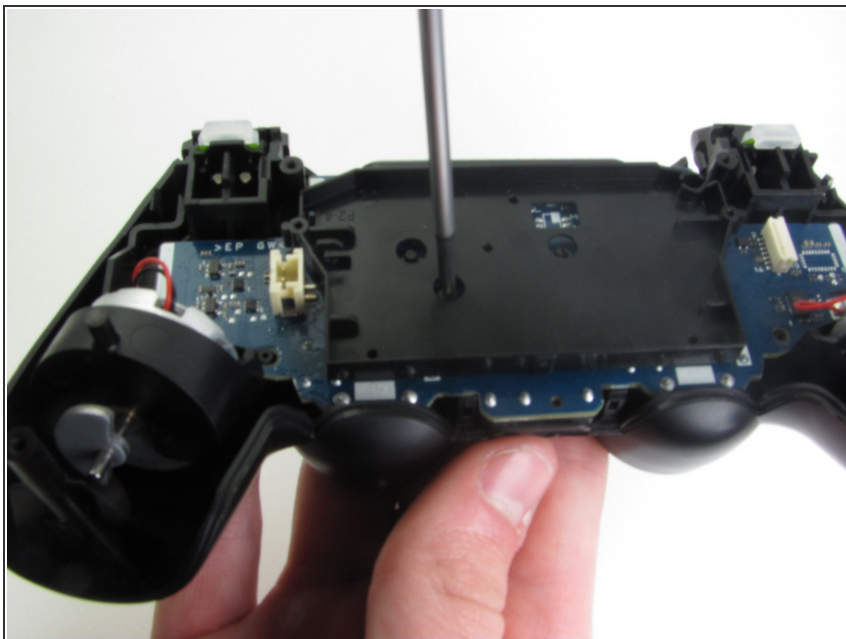
手順 5



- 先端が丸いピンセットを使用して、バッテリープラグをゆっくりと左右に揺らしながらプラグを緩めます。
- マザーボードからプラグを取り外すと、バッテリーを持ち上げてコントローラから分離できます。

⚠ 慌ててバッテリープラグを取り外すと、プラグのプラスチックのツメが歪んでしまうことがあります。

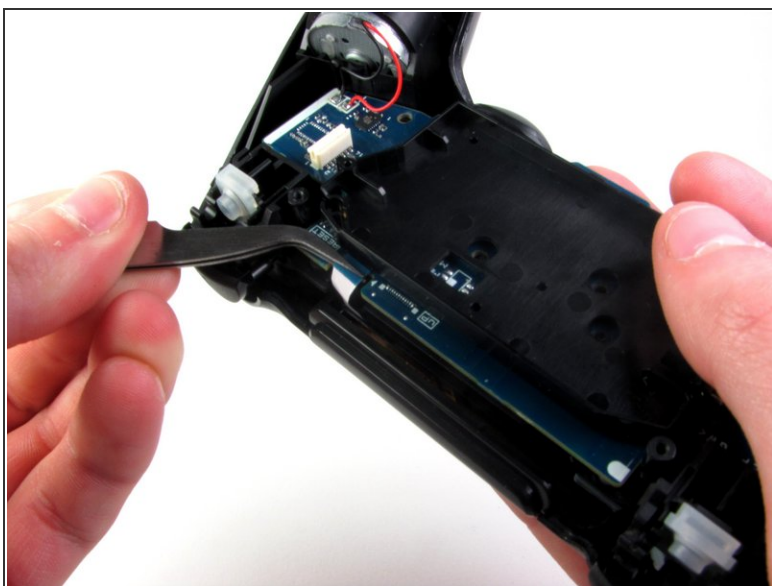
手順 6 — DualShock4のマザーボードの分解



- バッテリーの固定リテイナーの下にある6.0mmのプラスネジ1本を#00のドライバーを使って外してください。

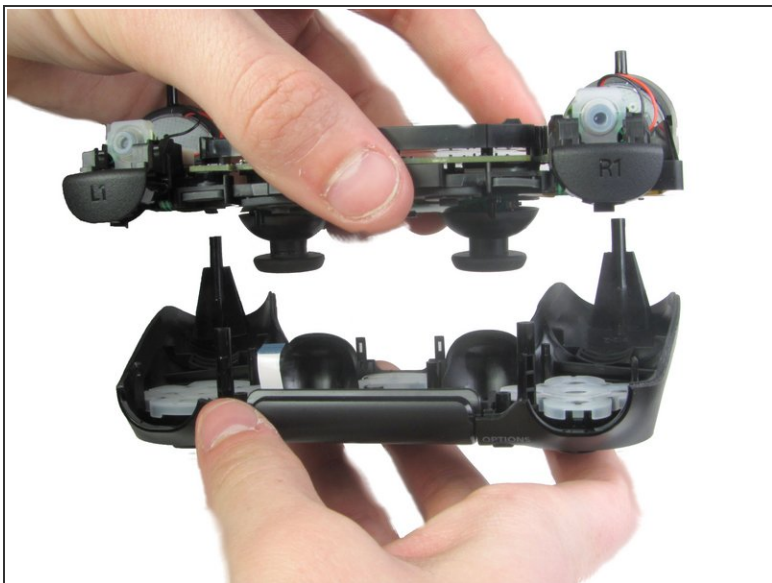
⚠ ネジが壊れるほど強い力をかけないでください。もしこの部品に回復不能な損傷が加えられた場合、分解が不可能になる可能性があります。

手順 7



- 先の丸いピンセットを使って、マザーボードとタッチパッドをつなぐリボンをゆっくりと切り離します。タッチパッドリボンはきつくしたり、緩めるために調整するコネクタでマザーボードと接続しています。再組み立ての際、リボンを再装着するには、プラスチックトレイをマザーボードからゆっくりと取り外して、ラッチを裏返します。

手順 8



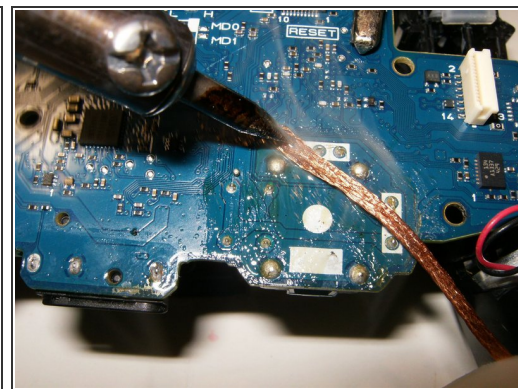
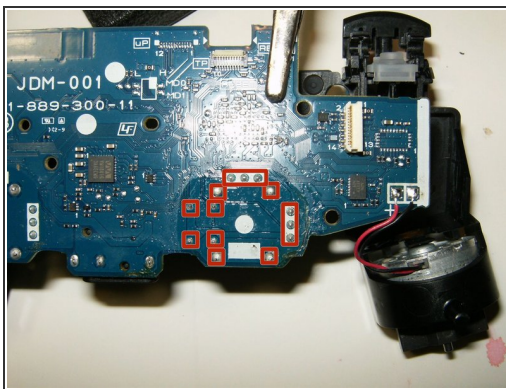
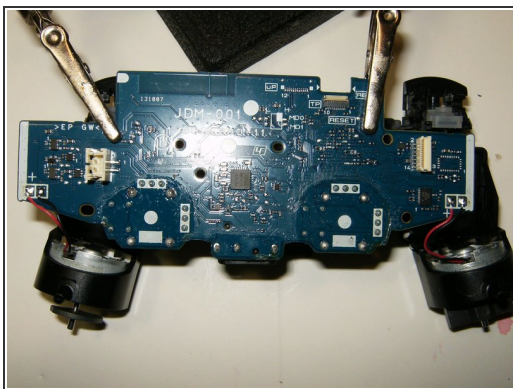
- 注意しながらフロントカバーからマザーボードを取り外します。
 - バイブレーションモーターはマザーボードに軽く合わせます。両端のサポートをきちんと合わせると取り外しが簡単になります。
- ⓘ マザーボードアセンブリを外す際には、ボタンとボタンカバーが落ちてしまうかもしれないため、下のフロントカバーの上面を傾けないでください。

手順 9 — 解体作業の完了



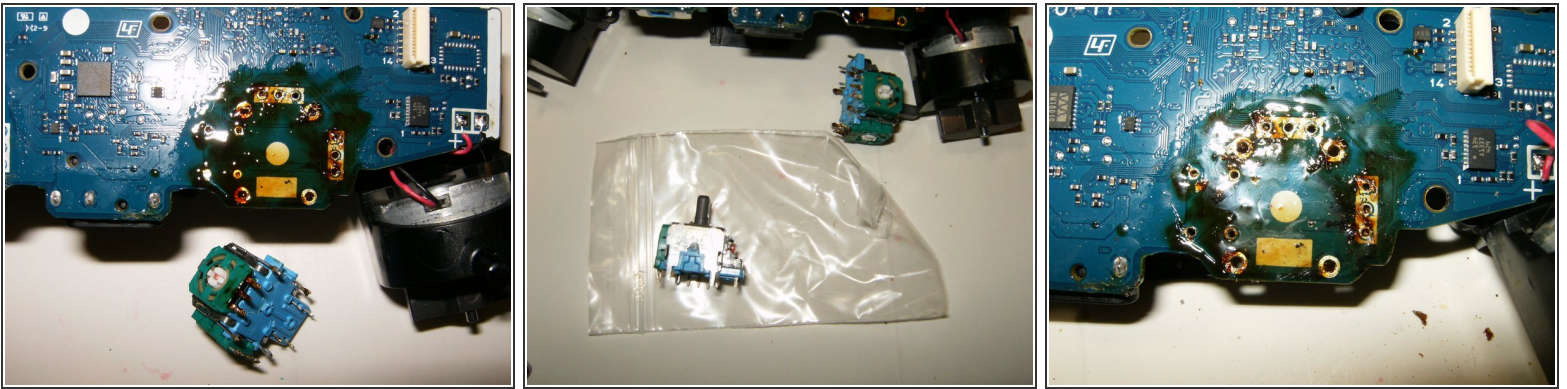
- コントローラの分解に成功すると、3つのパーツに分けることができます:
- マザーボードアセンブリ
- フロントカバー
- リアカバー

手順 10 — 左アナログジョイスティック



- 「補助クリップ」または同様の工具を使用して、はんだ付けを実行できるように回路基板を固定します。
- これらのはんだ接点のはんだを溶かす必要があります。基板は裏返しになっているため、左スティックは右側になります。
- はんだ吸い取り線とフラックスを使用して、はんだを溶かして除去します。

手順 11



- すべての接点のはんだが溶けると、古いジョイスティックを取り外せます。すべてののはんだの除去が必要となるため、この作業には多少練習が必要です。はんだを溶かし、吸い取り線を使用する際に、ジョイスティックを少し引っ張るとやりやすくなります。
- 新しいジョイスティックの接点が、元のものと同じであることを確認します。
- すべてのホールに古いはんだが残っていないことを確認します。注射針と微細ドリルビットを使用して、ホールをきれいにすることが可能です。基板上にある、溶けたような外観の物質が、はんだを溶かす際に使用するフラックスです。

手順 12



- 新しいジョイスティックを回路基板に挿入します。正しく装着されており、すべての接点が回路基板のホールにはまっていることを確認します。
- すべての接点を基板にはんだ付けします。
- これが修理後の基板です。最後に古いフラックスを無水エタノールで拭き取ります。

コントローラを組み立てる際は、これらの手順を逆に実行してください。